



学校法人片柳学園

2027年、片柳学園は創立80周年を迎えます

学校法人 片柳学園

日本工学院専門学校 校友会誌

発行・令和6年8月31日

No.59

大学か、専門学校か。  
編入の道も選べる!

蒲田キャンパス

八王子キャンパス



蒲田キャンパス

デザイン学部

- 視覚デザインコース ●情報デザインコース
- 工業デザインコース ●空間デザインコース

医療保健学部

- 看護学科 ●臨床工学科
- リハビリテーション学科
- [理学療法専攻/作業療法専攻/言語聴覚専攻]
- 臨床検査学科

大学院 ●デザイン研究科 ●医療技術学研究科

八王子キャンパス

コンピュータサイエンス学部

- 先進情報専攻[情報基盤コース/人間情報コース/人工知能コース]
- 社会情報専攻

メディア学部

工学部

- 機械工学科 ●電気電子工学科 ●応用化学科

応用生物学部

- 生命薬学コース ●地球環境コース ●食品コース ●化粧品コース

大学院 ●工学研究科 ●バイオ・情報メディア研究科

東京工科大学

〈蒲田キャンパス〉〒144-8535 東京都大田区西蒲田5-23-22 ☎0120-444-925  
 〈八王子キャンパス〉〒192-0982 東京都八王子市片倉町1404-1 ☎0120-444-903  
<https://www.teu.ac.jp/>



日本工学院で学ぶ  
(専門士)(高度専門士)取得

日本工学院から  
東京工科大学へ編入  
(専門士)+(学士)取得

東京工科大学で学ぶ  
(学士)取得



クリエイターズカレッジ

- 放送芸術科
- 声優・演劇科
- 演劇スタッフ科
- マンガ・アニメーション科4年制◆※
- マンガ・アニメーション科

デザインカレッジ

- ゲームクリエイター科4年制◆※
- ゲームクリエイター科
- CG映像科(3年制)
- デザイン科(3年制)

グラフィックデザイン/イラストレーション/  
インテリアデザイン/プロダクトデザイン専攻

ミュージックカレッジ

- コンサート・イベント科
- ミュージックアーティスト科
- プレイヤー/ヴォーカリスト/  
サウンドクリエイターコース
- 音響芸術科
- ダンスパフォーマンス科★

ITカレッジ

- ITスペシャリスト科(4年制)◆※
- AIシステム科
- 情報処理科
- ネットワークセキュリティ科
- 情報ビジネス科

秘書・事務/eビジネス/  
ホテル・観光(●のみ)コース

テクノロジーカレッジ

- ロボット科
- 電子・電気科
- 一級自動車整備科(4年制)◆※
- 自動車整備科
- 応用生物学科
- 建築学科(4年制)◆※
- 建築設計科
- 土木・造園科
- 機械設計科

スポーツ・医療カレッジ

- スポーツトレーナー科3年制
- スポーツトレーナー科
- スポーツ健康学科3年制
- スポーツインストラクター/スポーツビジネス/  
サッカー/テニスコース
- スポーツ健康学科
- スポーツインストラクター/スポーツビジネス/  
サッカー/テニスコース
- 鍼灸科(3年制)
- 柔道整復科(3年制)
- 医療事務科

★2025年度日本工学院八王子専門学校新設  
 ●日本工学院専門学校設置 ●日本工学院八王子専門学校設置  
 ◆編入制度あり ※高度専門士付専攻  
 全学科職業実践専門課程認定(新設学科除く)



2024年7月25日 蒲田上空から撮影

日本工学院

日本工学院専門学校 〒144-8655 東京都大田区西蒲田5-23-22 ☎0120-123-351  
 日本工学院八王子専門学校 〒192-0983 東京都八王子市片倉町1404-1 ☎0120-444-700  
<https://www.nec.ac.jp/> 姉妹校：日本工学院北海道専門学校



# かまた No.59

## Contents

校友会会長 桂田 忠明	1
学校法人片柳学園 理事長 千葉 茂	2
日本工学院専門学校 校長 山野 大星	2

### 校友会だより

第35回 通常総会報告	3
2023年度 支部会員の集い報告	5
2024年度 支部会員の集い開催予定	12
第57回 かまた祭のお知らせ	14
卒業生の皆様へ「かまた祭イベント」のお知らせ	15
学科から卒業生へ 先生から一言	16
学科から同窓会のお知らせ	19

### 日本工学院ニュース

令和5年度 卒業証書授与式	20
令和6年度 入学式	20
第53回 体育祭	21
第56回 かまた祭	21
蒲田校 学科の変遷	22
片柳学園 日本工学院専門学校の歩み	26
2023年度 企業奨学金授与式	28
キャリアサポートセンターからの報告	29
校友会誌「かまた」Web版への切替のお知らせ	30
Pal Syneについて	32
校友会Facebookのご案内	33
ソーシャルメディアポリシー	34
校友会ラウンジ利用規定のご案内	34
個人情報保護についての取組み	34
かまた題字作家紹介	35
入学金免除制度	35
令和6年3月 教職員退職者報告	36
教員・講師募集のご案内	36

### ～会員近況メッセージ～ お元気ですか？

校友会から「会誌探索」のお知らせ	40
「再入学優遇制度」のお知らせ	43
「教育訓練給付金」のお知らせ	44
「若きつくりびと奨学金」のお知らせ	45
学校法人片柳学園 各学校のご案内	表4

## Message



日本工学院専門学校校友会  
会長 桂田 忠明  
放送技術部・昭和36年卒業  
セントラル電子制御株式会社  
最高顧問

校友会会員の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、約3年間にわたり校友会活動を中止しておりましたが、昨年度より再開し、通常総会、地区支部会、地区支部長会などを開催することができました。これもひとえに会員の皆様のご協力の賜物と心より感謝申し上げます。

さて、日本工学院専門学校校友会は1967年の発足以来、今年で57年目を迎え、海外を含めて全42支部、16万4000人を超える卒業生を会員とする大きな組織に成長してまいりました。また、片柳学園は2027年に創立80周年を迎え、校友会も60周年という節目を迎えます。

過去には、学園創立50周年記念として国旗・校旗掲揚ポールを、60周年では全国各支部での記念事業を開催し、70周年記念には時計塔を校友会から学園に寄贈いたしました。さらに2021年には、学園の創立者である片柳鴻先生の三回忌を期に胸像「創立者片柳鴻先生之像」を建立・寄贈いたしました。

今回も、学園創立80周年・校友会創立60周年という歴史的な節目を迎えるにあたり、皆様と共に記念に残る素晴らしいイベントを企画し、華々しく盛り上げていきたいと考えております。これまでの校友会の歴史と伝統を振り返りつつ、未来への新たな一歩を踏み出すための準備を進めております。会員の皆様のご協力とご参加を心からお願い申し上げます。

また、比較的若い世代の会員の皆様の校友会活動への参加を増やしていきたいと考えております。その一環として、学生時代に「かまた祭」や「体育祭」の学生委員会活動をしてきた卒業後1～3年くらいの会員で構成される「サポーターズクラブ」には、通常総会やかまた祭などの校友会活動に参加してもらっただけでなく、さまざまな意見やアイデアを出してもらっています。こうした若い世代の参加が増えることで、20代・30代といった若い会員の皆様にも気軽に参加していただける環境を整えていきたいと考えています。より多くの皆様が世代を超えて集まることのできる活動環境を作っていくために、皆様のアイデアもお寄せいただければ幸いです。

さらに、校友会の名簿管理もPalSyne(パルサイン)というクラウド型システムの導入により、会員の皆様が自身で住所変更などを行えるようになりました。また、現在紙ベースで発行している会報誌もオンラインで閲覧できるよう、デジタル化を推進していく予定です。

長年にわたり学園と共に歩んできた校友会は、これからも学園のさらなる発展と成長を願い、努力を続けてまいります。会員の皆様には、引き続き温かいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



## Message

学校法人片柳学園 理事長 千葉 茂

校友会会員の皆様、こんにちは。  
今年、日本工学院専門学校校友会が57周年を迎えますこと、心からお祝い申し上げます。これまでの卒業生数は約16.4万人となり、設置校すべてを合わせると、約29.6万人にも及びます。

昨今日本では、大学全入学時代に突入し、専門学校を取り巻く環境は厳しいものとなっています。本校は新たな挑戦と日々変化する社会に適応するべく努力を重ねております。

昨年片柳学園全教職員がSlackで繋がっており、こちらに勉強会のチャンネルを設けて、私が毎月資料を配信しております。この4月からは本学園77年の歴史を振り返り、過去に本学園がどのような創意工夫・挑戦をして現在までに成長してきたのかを紐解いて解説しております。この逆境を教職員がベクトルを合わせ、対峙していかなくてはなりません。皆様には引き続き、力強いご支援と積極的な協力を賜り、次世代の後輩たちにより良い未来のバトンを繋いで参りたいと思います。

さて、去る6月8日には日本全国の各支部、更に海外からも台湾支部から、役員の皆様にも蒲田校にお集り頂き、第35回通常総会が執り行われました。卒業して間もない若手メンバーの参加もあり、職業・世代を超えた交流が出来たこと大変嬉しく思っております。

卒業生の皆様には、これまで母校を支え、ご支援下さいましたことに深く感謝致します。引き続き、母校との絆を深めて頂き、会員の皆様方相互のネットワークも年々構築され、新たな出会いや協力の機会が生まれますこと強く望んでおります。

最後になりますが、皆様の益々のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げ挨拶とさせていただきます。



## Message

日本工学院専門学校 校長 山野 大星

校友会の皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。  
現在、さまざまな仕事が生成AIやロボットに代替されていく時代であり、人が作ったものをただ消費する消費社会から、誰もが何かを創り出す創造社会が到来していると言われております。現在の日本は、生成AIなどの先進技術の進展への対応、少子高齢化や気候変動など、解決すべき社会的な課題

が山積しています。このため、専門力と人間力、創造力を兼ね備えた課題解決ができる専門職人材が求められています。これからの時代の学びと教育には、誰もが創造性を磨き、発揮して生きていくという視点が不可欠となっております。

そのような社会で、日本工学院的ミッション「若者の持つ夢や希望を、技術という生きる力に育み、豊かな未来の創造に寄与する」を実現するため、私たちは時代が求める「若きつくりびと」を育成してまいります。今年度は価値ある教育を提供し、第一志望で選ばれる学校となることを目指して活動してまいります。そのために、学生中心主義を掲げ、他では体験できない感動をする超体験型の授業・実習を学生の皆さんに提供しております。例えば、今年度「片柳アリーナ」から「日本工学院アリーナ」とその名称を変えた地下アリーナでの学生による合同卒業展や卒業コンサート等の実施は、まさに超体験型の学びです。

昨年度、校長として九州・沖縄地区支部長会にお邪魔し、日本工学院を卒業されて「幸福」な人生を送られている方のお話や日本工学院への「母校愛」についてのお話を聞くことができました。今年度も各県の支部会等にお邪魔する際には、どうかよろしくお願いたします。

2027年は学園創立80周年の節目を迎えます。日本工学院専門学校を卒業されて各界でご活躍されている皆様のさらなるご活躍を祈り、校友会活動へのご支援、ご参加をお願いする次第です。校友会の皆様のご健勝とご活躍を心より祈念し、ご挨拶といたします。

# 校友会だより

日本工学院専門学校校友会  
第35回 通常総会



## 第35回 通常総会報告

開催日時：2024年6月8日(土) 15:00~16:15  
開催場所：日本工学院専門学校 片柳記念ホール(3号館地下1階)  
出席：出席代議員41名(支部長・副支部長)・顧問・役員  
司会：相沢 早苗さん

### 通常総会

通常総会は毎年1回、全42支部から支部長または副支部長(代議員)が出席し、校友会の活動方針を決めるための校友会最高の議決機関です。

定刻になり、司会の相沢早苗氏が総会の開会を告げ、清田茂信副会長による開会宣言が行われました。その後、桂田忠明会長、千葉茂学園理事長、山野大星日本工学院専門学校校長の順にご挨拶が続き、千葉理事長、山野校長が退出された後、事務局より代議員総数、議決権総数、出席代議員数、出席議決権数が報告され、本総会の成立が確認されました。

議長に植木敏郎副会長が、副議長に奥川宏副会長が選出され、お二方の進行により議案審議に入りました。後述の6つの議案が審議され、すべて承認されました。次回、第36回通常総会の開催を2025年6月14日(土)に決定し、清田副会長による閉会宣言により閉会いたしました。

### 通常総会詳細

#### 通常総会出席状況

##### 【代議員数及び議決権数】

代議員総数 および 議決権総数	代議員総数 42名	議決権総数 42名
出席代議員数 および 議決権数	出席代議員数…41名 ○出席者…36名 ○委任状…5名	出席議決権数…41名 ○出席者…36名 ○委任状…5名

以上により、過半数の出席を確認。日本工学院専門学校校友会会則第27条第1項に基づき、本総会は適法に成立することが認められた。

##### 【そのほかの出席者】

顧問	総数…7名	出席…4名
常任幹事	総数…7名	出席…7名 (代議員1名含む)
会計幹事	総数…2名	出席…2名
事務局	総数…2名	出席…7名 (会計幹事1名含む)

#### 通常総会

- 開会宣言 清田 茂信 副会長(熊本県支部 支部長)
- 会長挨拶 桂田 忠明 会長
- 理事長挨拶 千葉 茂 学校法人片柳学園 理事長
- 校長挨拶 山野 大星 日本工学院専門学校 校長
- 議長、副議長および署名人(2名)の選出  
議長 植木 敏郎 副会長(新潟県支部 支部長)  
副議長 奥川 宏 副会長(静岡県支部 支部長)  
議事録署名人 木村 照雄 青森県支部 支部長  
山川 光雄 沖縄県支部 支部長

#### 6. 議案審議

- 第1号議案…2023年度(令和5年度)事業報告  
[平川 進 常任幹事]

- 通常総会の開催(2023年6月10日)
- 支部会員の集い、会員の集いについて  
1)支部会員の集い  
2)会員の集い(懇親会)  
3)地区支部長会  
4)同窓会
- 常任幹事会
- 校友会誌および校友会のしおりの発行  
1)「かまた」誌(No.58号)の発行(2023年8月末日発行)  
2)2023年度卒業生配布「校友会のしおり」の発行(2024年3月発行)
- 卒業証書授与式での顕彰  
※1:校友会会長賞授与者
- その他 かまた祭協力

- 第2号議案…2023年度(令和5年度)収支決算報告  
および監査報告  
[小野寺 月美 会計幹事/  
監査報告・平井 正博 会計監査]

- 2023年度(令和5年度)収支決算報告  
※2:決算報告書
- 校友会次期繰越額及び銀行預金残高
- 監査報告

- 第3号議案…2024年度(令和6年度)事業計画  
[鈴木 啓利 常任幹事]

- 校友会誌(No.59)および校友会のしおりの発行
- 通常総会、支部会員の集い、地区支部懇親会、地区支部長会の開催
- 校友会会長賞

- 第4号議案…2024年度(令和6年度)収支予算案  
[大西 智之 会計幹事]  
1. 2024年度(令和6年度)収支予算案  
※3: 予算案
  - 第5号議案…役員選任について  
[佐藤 充 常任幹事]  
※4: 役員名簿(任期・2026年6月13日まで)
  - 第6号議案…その他  
[大塚 勝哉 常任幹事]
7. 議長、副議長の解任  
8. 閉会宣言 清田 茂信 副会長

※1  
▼2023年度「校友会会長賞」受賞者(第1号議案)

学科/氏名	顕彰理由
クリエイターズカレッジ 演劇スタッフ科 新藤 里彩	他学科合同企画や卒業公演での活躍と、難関就職先への内定を評価
デザインカレッジ デザイン科 福島 隼	学内施設の広報宣伝制作を手掛け学園に貢献、授業への取り組み方も評価
ミュージックカレッジ ダンスパフォーマンス科 竹並 亜耶	プロ野球 チアチーム メンバーに内定
ITカレッジ 情報処理科 チームCodeCraft	「初学者の学習をサポート」をテーマにChatGPTを組み込んだ卒業制作を評価
テクノロジーカレッジ 電子・電気科 秋元 龍大	「第三种電気主任技術者」合格、ドローンプロジェクトのリーダーとして、飛行ロボットコンテストに出場を評価

※2  
▼2023(令和5)年度 収支決算報告(第2号議案)  
2023年4月1日～2024年3月31日 単位(円)

収入の部		支出の部	
科目	金額(円)	科目	金額(円)
前期繰越	130,610,209	会誌[かまた]等制作費	15,669,197
校友会会費	29,121,610	総会諸費用	2,676,250
会誌[かまた]広告料	310,000	地区支部長会議諸経費	1,992,987
受取利息	24	支部事業費	4,875,966
雑収入	140,358	イベント事業費	188,500
小計	29,571,992	準会員支援費	116,050
		ウェブサイト経費	1,482,800
		事務管理費	691,757
		人件費	0
		予備費	77,520
		小計	27,771,027
		次年度繰越額	132,411,174
収入の部計	160,182,201	支出の部合計	160,182,201

※3  
▼2024(令和6)年度 収支予算案(第4号議案)  
2024年4月1日～2025年3月31日 単位(円)

収入の部		支出の部	
科目	金額(円)	科目	金額(円)
前期繰越	132,411,174	会誌[かまた]等制作費	14,610,000
校友会会費	28,728,000	総会諸費用	2,750,000
会誌[かまた]広告料	0	地区支部長会議諸経費	2,270,000
受取利息	0	支部事業費	5,800,000
雑収入	0	イベント事業費	1,100,000
小計	28,728,000	準会員支援費	120,000
		ウェブサイト経費	4,850,000
		事務管理費	1,200,000
		人件費	100,000
		予備費	250,000
		小計	33,050,000
		次年度繰越額	128,089,174
収入の部計	161,139,174	支出の部合計	161,139,174

※4  
▼改選後の役員名簿(第5号議案)

役職	氏名	備考	新・重任
会長	桂田忠明	首都圏支部支部長	重任
	植木敏郎	新潟県支部支部長	重任
副会長	奥川宏	静岡県支部支部長	重任
	清田茂信	熊本県支部支部長	重任
	廣瀬憲治	茨城県支部支部長	重任
常任幹事	平川進	首都圏支部副支部長	重任
	鈴木啓利	首都圏支部副支部長	重任
	鈴江敬太	首都圏支部副支部長	重任
	佐藤充	日本工学院専門学校 教育・学生支援部	重任
	小原都雄	日本工学院専門学校 教育・学生支援部 部長	重任
	大塚勝哉	日本工学院専門学校 教育・学生支援部 学生課 課長	重任
	阿部富美雄	岩手県支部支部長	重任
地区幹事	石黒明	富山県支部支部長	重任
	林寛	高知県支部支部長	重任
	穴見誠	福岡・佐賀支部支部長	重任
	市川芳男	山梨県支部支部長	新任
	小野寺月美	首都圏支部幹事	重任
会計幹事	大西智之	日本工学院専門学校 教育・学生支援部 学生課 係長	重任
会計監査	平井正博	三重県支部支部長	重任
	山口剛	群馬県支部支部長	重任

■ 当日の通常総会以外の催し ■

- 【役員会】  
13:00～14:00 [3号館20階 第1会議室]
- 【記念写真撮影】  
14:40～14:55 [3号館 エントランスホール]
- 【懇親会】  
17:00～18:30 [6号館1階 フーズ・フー  
(カフェテリア ローズ)]

2023年度

# 支部会員の集い報告

2023年度支部会員の集い(総会・懇親会)では、近況報告、役員改選、懇親会での情報交換など、各支部とも有意義で実りある会合内容が報告されています。旧友との久々の再会となる懇親会では懐かしい思い出話にも花が咲き、和やかで充実した歓談のひとつときがもたれました。今後も世代をこえた地元校友とのネットワークづくりに、皆様の積極的なご参加をお願い申し上げます。

## 岩手県支部

■ 設立：1990年10月23日 ■ 支部長：阿部 富美雄



### 第16回 岩手県支部 会員の集い

日時：2023年10月21日(土)  
①18:00 支部総会  
②18:40 懇親会  
会場：ホテルロイヤル盛岡  
[la vraie saveur(ラ・ブレ・サヴール)]

## 秋田県支部

■ 設立：1988年9月12日 ■ 支部長：高橋 由紀夫



### 第16回 秋田県支部 会員の集い

日時：2023年10月22日(日)  
①15:30 支部総会  
②16:30 DVD上映会  
「創立者片柳鴻先生之像」寄贈記念  
～未来を描いたその先に～  
③17:30 懇親会  
会場：協働大町ビル

### 福島県支部

■ 設立：1988年11月18日 ■ 支部長：荒 俊之



#### 第16回 福島県支部 会員の集い

日時：2023年10月14日(土)  
18:00 支部総会  
懇親会  
会場：個室居酒屋 庵ぐら福島駅前店

### 山梨県支部

■ 設立：1994年5月28日 ■ 支部長：市川 芳男



#### 第14回 山梨県支部 会員の集い

日時：2023年10月21日(土)  
11:00 支部総会  
懇親会  
会場：ぶどうの丘 和食処「丘庵」

### 栃木県支部

■ 設立：1988年8月27日 ■ 支部長：赤塚 明男(新任)



#### 第16回 栃木県支部 会員の集い

日時：2023年9月9日(土)  
①15:00 支部総会  
②16:30 懇親会  
会場：ホテルニューイタヤ

### 福井県支部

■ 設立：1992年11月27日 ■ 支部長：山田 栄治(新任)



#### 第15回 福井県支部 会員の集い

日時：2023年9月30日(土)  
11:30 支部総会  
懇親会  
会場：越前つるきそば本店

### 群馬県支部

■ 設立：1988年7月4日 ■ 支部長：山口 剛



#### 第16回 群馬県支部 会員の集い

日時：2023年7月22日(土)  
①16:00 支部総会  
②16:45 懇親会  
会場：磯部 築(いそべ やな)

### 愛知県支部

■ 設立：1992年11月12日 ■ 支部長：朝日 洋子



#### 第15回 愛知県支部 会員の集い

日時：2023年11月19日(日)  
① 9:30 研修会「史跡 小牧山」  
②12:00 支部総会・懇親会  
@味すし

## 兵庫県支部

■ 設立：1993年5月28日 ■ 支部長：新庄 吏奈



### 第14回 兵庫県支部 会員の集い

日時：  
2023年10月7日(土) 10:30～  
①10:30 支部総会  
@Office ADock  
②12:00 ランチ懇親会  
@Grazie 姫路駅前店  
③14:00 研修会「国宝 姫路城」  
④17:30 懇親会  
@Japanese Restaurant 良寛

## 徳島県支部

■ 設立：1990年9月5日 ■ 支部長：佐野 寛己



### 第16回 徳島県支部 会員の集い

日時：2023年9月16日(土)  
①18:00 支部総会  
②19:00 懇親会  
会場：JRホテルクレメント徳島  
日本料理「藍彩」

## 鳥取県支部

■ 設立：1992年8月7日 ■ 支部長：古志 敏幸(新任)



### 第15回 鳥取県支部 会員の集い

日時：  
2023年11月11日(土)  
①15:30 支部総会  
@ANAクラウンプラザホテル米子  
②17:10 懇親会  
@LAND&YEARS  
(鳥取県・島根県支部合同)

## 香川県支部

■ 設立：1990年9月11日 ■ 支部長：渡邊 博文



### 第16回 香川県支部 会員の集い

日時：2023年9月9日(土)  
①18:00 支部総会  
②18:30 懇親会  
会場：JRホテルクレメント高松  
日本料理「瀬戸」

## 島根県支部

■ 設立：1998年8月8日 ■ 支部長：藤原 義広



### 第15回 島根県支部 会員の集い

日時：  
2023年11月11日(土)  
①15:30 支部総会  
@ANAクラウンプラザホテル米子  
②17:10 懇親会  
@LAND&YEARS  
(鳥取県・島根県支部合同)

## 愛媛県支部

■ 設立：1990年8月7日 ■ 支部長：二宮 清次



### 第16回 愛媛県支部 会員の集い

日時：2023年10月14日(土)  
①17:30 支部総会  
②19:00 懇親会  
会場：えひめ共済会館

### 高知県支部

■ 設立：1990年9月13日 ■ 支部長：林 寛



#### 第16回 高知県支部 会員の集い

日時：2023年9月10日(日)  
① 9:30 支部総会  
② 11:00 懇親会  
会場：高知会館

### 福岡・佐賀支部

■ 設立：1988年10月25日 ■ 支部長：穴見 誠

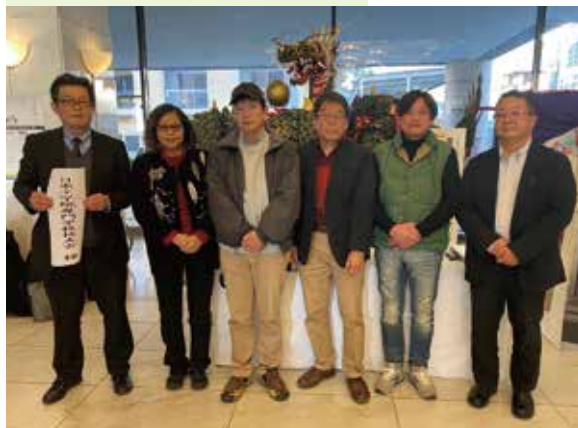


#### 第16回 福岡・佐賀支部 会員の集い

日時：2023年11月18日(土)  
18:00 支部総会  
懇親会  
会場：八仙閣 本店

### 長崎県支部

■ 設立：1992年7月10日 ■ 支部長：釘山 威



#### 第15回 長崎県支部 会員の集い

日時：2023年11月25日(土)  
12:00 支部総会・DVD上映会  
(DVD：「創立者片柳鴻先生之像」  
寄贈記念～未来を描いたその先に～)  
懇親会  
会場：ホテルセントヒル長崎

### 熊本県支部

■ 設立：1998年10月24日 ■ 支部長：清田 茂信



#### 第16回 熊本県支部 会員の集い

日時：2023年11月26日(日)  
① 11:00 支部総会・DVD上映会  
(DVD：「創立者片柳鴻先生之像」  
寄贈記念～未来を描いたその先に～)  
② 12:30 懇親会  
会場：KKRホテル熊本

### 宮崎県支部

■ 設立：1988年10月21日 ■ 支部長：岡崎 真裕(新任)



#### 第16回 宮崎県支部 会員の集い

日時：2023年11月25日(土)  
① 17:30 総会・DVD上映会  
(DVD：「創立者片柳鴻先生之像」  
寄贈記念～未来を描いたその先に～)  
② 18:30 懇親会  
会場：ケイズストリートホテル宮崎

### 沖縄県支部

■ 設立：1989年5月27日 ■ 支部長：山川 光雄  
■ 宮古地区幹事：武島 秀喜 ■ 八重山地区幹事：大田 守雄

#### 第10回 沖縄県支部会員の集い

##### 宮古地区



日時：2023年9月22日(金)  
19:00 支部長・事務局報告 懇親会  
会場：海鮮居酒屋 海王

##### 八重山地区



日時：2023年9月23日(土)  
19:00 支部長・事務局報告 懇親会  
会場：やいま家庭料理「さつき」

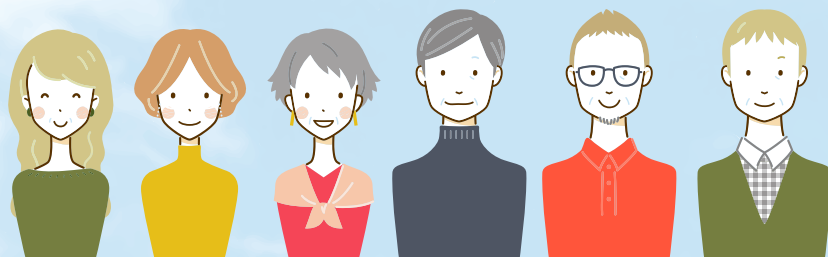
2024年度  
支部事業

# 支部会員の集い開催予定

支部会員の集いは2年に一度開催されます。

総会では役員改選や、支部活動についてのご意見をお聞かせいただき、その後の懇親会では地元校友との情報交換やネットワークづくりの活発化を図ってまいります。また、講演会、研修会、見学会、レクリエーションなどを積極的に企画している支部もあります。

ご出身地だけではなく、お引越しや就職・転職、ご結婚などで移転されたところの支部にもご参加いただけます。



## ～ 近畿・中国・四国ブロック ～

支部名	開催月日(曜)	開催地	支部長
近畿支部	11月30日(土)	大阪市	東 恒八
京・滋支部	12月1日(日)	京都市	菅原 進
岡山県支部	9月13日(金)	岡山市	尾崎 章夫
広島県支部	10月5日(土)	広島市	福岡 孝司
山口県支部	9月14日(土)	山口市	早川 一夫

## ～ 九州・沖縄ブロック ～

支部名	開催月日(曜)	開催地	支部長
大分県支部	11月23日(土)	大分市	佐藤 浩
鹿児島県支部	11月16日(土)	鹿児島市	久山 順一
沖縄県支部	9月28日(土)	那覇市	山川 光雄

## ～ 北海道・東北ブロック ～

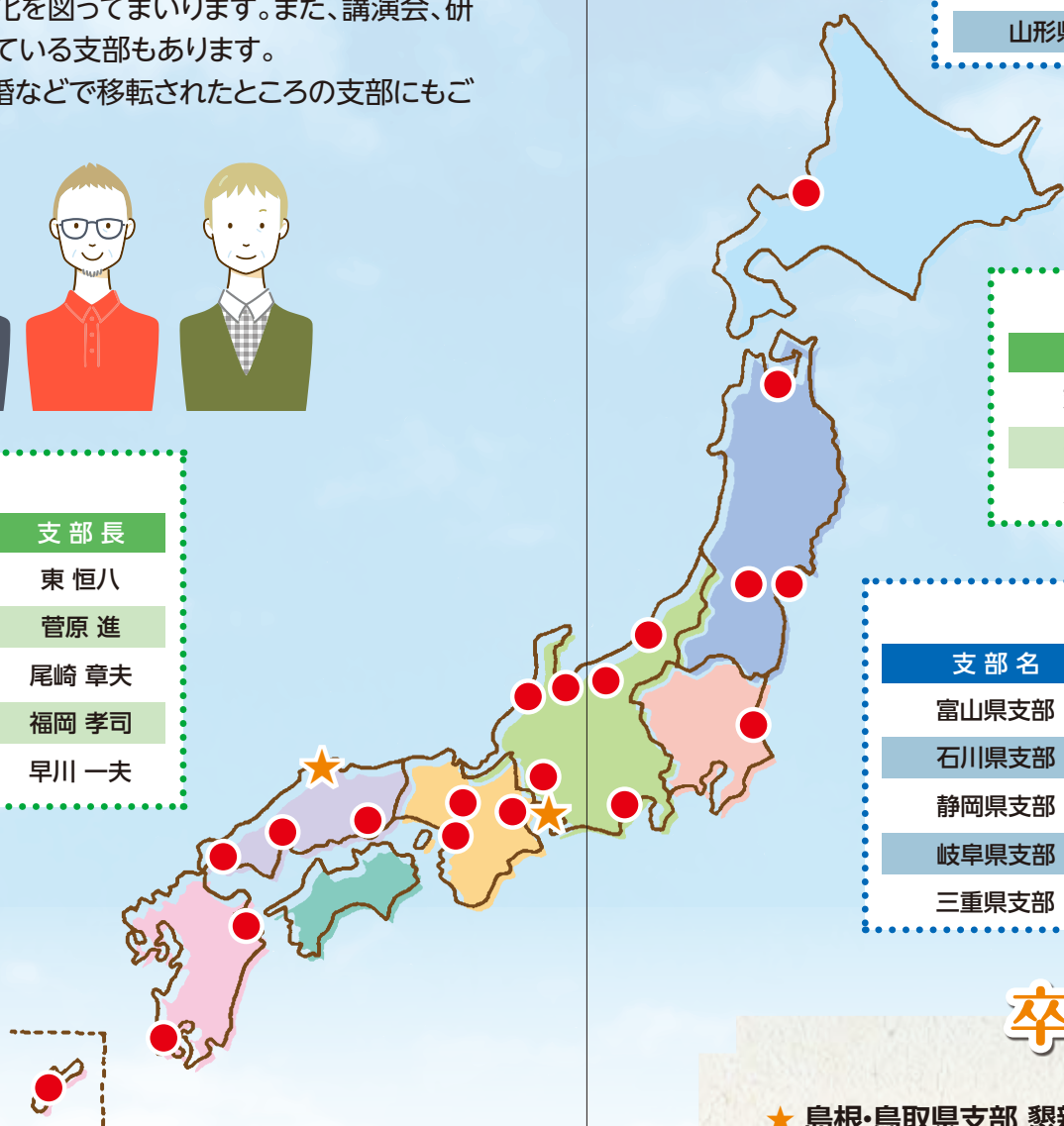
支部名	開催月日(曜)	開催地	支部長
北海道支部	9月7日(土)	札幌市	平井 康美
青森県支部	11月10日(日)	青森市	木村 照雄
宮城県支部	11月9日(土)	仙台市	清水 幸男
山形県支部	10月19日(土)	山形市	樋口 祐七

## ～ 関東・甲信越ブロック ～

支部名	開催月日(曜)	開催地	支部長
茨城県支部	10月19日(土)	水戸市	廣瀬 憲治
長野県支部	9月28日(土)	長野市	峯村 理雄
新潟県支部	11月9日(土)	長岡市	植木 敏郎

## ～ 東海・北陸ブロック ～

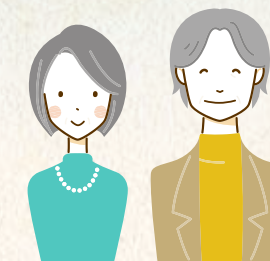
支部名	開催月日(曜)	開催地	支部長
富山県支部	11月23日(土)	富山市	石黒 明
石川県支部	11月16日(土)	金沢市	正田 隆浩
静岡県支部	10月14日(月・祝)	静岡市	奥川 宏
岐阜県支部	10月12日(土)	岐阜市	柴田 達夫
三重県支部	10月13日(日)	四日市市	平井 正博



## 卒業生の集まる会

★ 島根・鳥取県支部 懇親会  
11月9日(土) 18:00～ 於：松江市

★ 愛知県支部 懇親会  
「津軽三味線と民謡の集い」予定  
11月30日(土) 18:30～ 於：名古屋市



懇親会を  
行います

※開催日、場所、内容は変更する場合があります。校友会HP、Facebookにてご確認ください。





第57回  
かまた祭の  
お知らせ

令和6年 11月3日(日)祝・4日(月)振

けんらん か さい  
Theme : 絢爛華祭

「かまた祭」が、今年もやって来ます！ 第57回を迎える今年のテーマは「絢爛華祭(けんらんかさい)」。輝きと華やかさが融合した最高の祭典にするべく学生と教職員が一丸となり、最高の学園祭をお届けします。

7月10日に行われたキックオフミーティングでは、かまた祭を運営する学生委員会ACTのメンバーと顧問の先生方が一堂に会し、実行委員長の関角真ノ介くん(ITスペシャリスト科4年)の熱い言葉が関係者に贈られました。当日は、以下のような盛りだくさんの内容を企画しています。

- 野外特設ステージ：音楽ライブやパフォーマンスが目白押し！
- ゲストイベント：スペシャルゲストによるトークショーやライブ！
- 学習成果発表：学生達の日頃の努力と創意工夫を見てください！
- 模擬店：美味しい食べ物が盛りだくさん！



学生たちは、本部、イベント部、売店部、施設警備部(環境管理部)、広報部などの部署に分かれて熱心に準備を進めています。また、教職員のみ部署(装飾部、電気設備部、会計部、復興支援・蒲田駅西口町会、地域就職支援部、そして校友会担当)も同じようにかまた祭を盛り上げていきます。

また、例年好評の校友会主催のイベントも盛りだくさんです！

かまた祭は、学生、卒業生、教職員、そして地域の皆様との絆を深める大切な場です。皆様のご参加が、この祭りをさらに特別なものにします。皆様のご来場を心よりお待ちしております。今年も「かまた祭」で一緒に楽しみましょう！



蒲田キャンパスを余すことなく利用した盛大な学園祭で卒業生の皆様をお待ちしています。ぜひ足をお運びください。  
状況により行事内容が変更することがございます。  
ご来場の際は日本工学院専門学校のホームページにてご確認ください！



卒業生の皆様へ

校友会主催『かまた祭イベント』のお知らせ

開催日 令和6年 11月3日(日) 第57回かまた祭初日です！

学校内見学ツアー



校友会主催イベント

- ★ 学校内見学ツアー
  - ★ 【新企画】スタンプラリー
  - ★ 卒業生の集い
- 開催日時：11月3日 17:00～18:30  
場 所：1号館1階フーズ・フーⅡ  
会 費：2,000円

卒業生の集い



今回も3号館12階の校友会ラウンジ開放いたします。ご休憩やお待ち合わせにご利用ください！

イベントの詳細や申し込み方法については、  
ウェブサイト、Facebook、Pal Syne等に掲載いたします。

校友会Net▶



校友会事務局  
Facebook▶



pal syne▶



# 学科から卒業生へ

先生から一言



## クリエイターズカレッジ

### 声優・演劇科



左から 城田先生、佐々木先生、宮川先生、吉村科長、平野主任、渡邊先生

皆様、こんにちは。声優・演劇科は創設から49年目を迎えました。

昭和51年(1976年)に演劇科として30名でスタートし、22年後の平成9年(1997年)に声優コースが設置され、平成18年(2006年)には俳優・声優科となりました。その後、2回の変更を経て現在の学科名になり、一時期は1学年300名を超えることもありましたが、現在は1学年120名で推移しており、次年度は50期目を迎えることになります。

この節目を迎え、多くの学生、講師、先輩方の支えに深く感謝しています。令和7年(2025年)には創設50周年を記念して卒業生との交流の場を設けることも検討しています。将来に向けて、変化する業界に対応し、学生が実践的なスキルを身につけられるようカリキュラムを強化し、業界との連携を深めてまいります。

皆様のご支援とご協力を賜りながら、次の50年に向けて努力を重ねていきます。

## デザインカレッジ

### デザイン科

(グラフィックデザイン科/Webクリエイター科  
インテリアデザイン科/プロダクトデザイン科)

卒業生の皆さまお元気ですか。

皆さんが所属していた学科が統合し、専攻として専門分野を学んでいくようになりました。変化していく社会にあわせ、学科や学生の状況も変わり、全員がノートパソコンを持ち、教室どこでも制作が出来る環境となりました。教室もリニューアルしてきれいになりました。例えば、インテリアやプロダクトが中心に使用している6304教室はパソコンを無くし、個別机になっています。グラフィックが中心に使用しているグラフィック工房ではシルクスクリーンの機械が無くなり制作テーブルに入れ替わりました。

環境が変わってもデザインは止まりません。学生の成果発表の場として、秋期作品展(9月)、学祭のデザインショップ(11月)、卒業制作展(3月)など継続しています。是非、足を運んで後輩の作品をご覧くださいと思います。

皆さまのさらなるご活躍を願っております。



6号館 3階 6304教室



6号館 7階 グラフィック工房

## ミュージックカレッジ

### 音響芸術科



後列左から 佐藤さん、大崎さん、梶内さん、太田さん(教育補助員)

中列左から 蓑輪先生、横田先生、我妻科長、野瀬先生  
前列左から 古川主任、濱野先生、加藤先生

音響芸術科卒業生の皆さん、元気にされておりますか？

今回メッセージを担当するのは音響芸術科 教員の古川(こがわ)です。

私自身、音響芸術科の26期を卒業しているのですが、早いもので音響芸術科は今年度で44年目を迎えており、来年は45周年というメモリアルな年度を迎える予定です。

日本工学院の中でも歴史ある学科の一つである音響芸術科ですが、近年は教員や講師の入れ替わりもあたりと変化の時期でもあります。

時代の変化に順応しながらも、伝統を守り、より良い学科にしていく為に音響芸術科の教員一同これからも頑張っております!! 目指せ50周年!!

卒業生の皆さまもぜひ学校にも遊びにいらしてくださいね。



## ITカレッジ

### 情報処理科



実習室の様子／3号館6階 30617教室

情報処理科をご卒業された皆さま、お元気ですか？

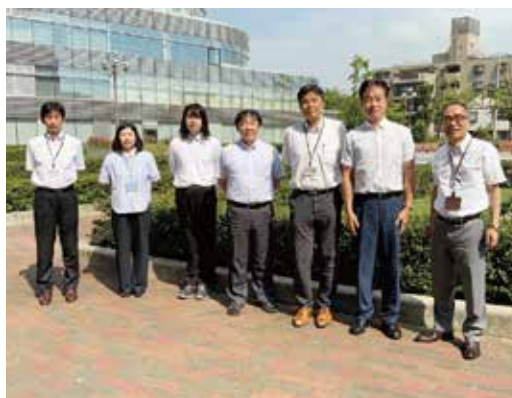
今回は、現在の学科の教育実習環境をご紹介します。昨今の教育実習環境は、デスクトップPCがずらりと並んだ形態から、アクティブラーニングを目指し多様な学習に対応できる形態に変化しております。学生たちは、各自のノートPCを学内Wi-Fiでネットに接続しクラウドサービスと連携した学習を行っております。また、スマートフォンでの動作を想定したモバイルアプリ開発用として、AppleのiMac(こちらはデスクトップ)を2024年8月に最新型(CPU:M3)にリニューアルして活用しております。

情報処理科は新たな環境での教育にて、引き続き皆さまの後輩を職場へ送り出しております。最後になりますが、皆さまの今後のご活躍を心よりお祈り申し上げます。



## テクノロジーカレッジ

### 電子・電気科

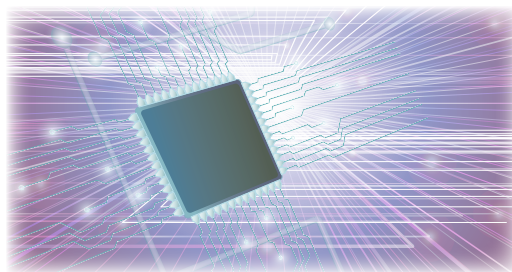


左から 板倉先生、若林先生、佐藤先生、森田先生、辻村先生、渡邊先生、川村先生

2019年10月に電気工学科設立50周年同窓会を開催して以降、コロナ禍もあり卒業生の皆様とお会いできる機会がめっきり減ってしまいましたが、お変わりなくお過ごしでしょうか。

電子・電気科では3コースとも入学生が減少していますが、その分卒業する学生が社会でより評価していただけるよう、電子工学コースでは第一級陸上無線技術士、電気工学コースでは第三種電気主任技術者そして電気工事コースでは第一種電気工事士はもちろん1級電気工事施工管理技術検定に在学中合格できるようきめ細かく指導を行い、年々合格者数を増やしております。

社会でのニーズが一層高まっている現状からも、皆様の周りで進路を迷われている高校生、転職や学び直しを考えている方がおられましたら、母校である日本工学院専門学校 電子・電気科をお勧めください。今後も活気ある学科であり続けられるよう是非ともご協力お願いいたします。



# 同窓会のお知らせ

## コンサート・イベント科30周年同窓会 開催のお知らせ

**コンサート・イベント科  
30周年記念 同窓会**  
CONCERT EVENT Dept. 30th Anniversary Party

**2024.11.1(金)**  
**開場 18:00**  
**開宴 18:30**  
**終宴 20:15**

場所：日本工学院専門学校  
3号館12階学生ラウンジ

日本工学院専門学校コンサート・イベント科をご卒業された皆様、お元気でしょうか？

現場で活躍の皆様におかれましては、お忙しい日々をお過ごしのことかと思えます。また、現場から離れてしまった方におかれましても音楽好き、ライブ好きは変わらず、エンタメへの愛は変わらずお過ごしのことかと思えます。

1994年に1期生を迎えスタートしましたコンイベは今年度31期生を迎えました。

この度、30周年を迎えました学科の記念といたしまして、卒業生の皆様にお集まりいただき、懐かしい仲間と再会し、当時の思い出話で盛り上げていただけたらと思います。同窓会を企画いたしました。教員の方々、補助員さんたちにも参加を呼びかけておりますので、ぜひ皆様お誘い合わせの上、ご参加いただきますよう、よろしくお願いいたします。

**申し込み方法など詳細は下記QRコードから専用サイトをご覧ください。**



( <https://concertevent.amebaownd.com/> )

皆様のお越しを  
心よりお待ちしております。

同窓会実施準備担当学科教員：吉野

● お問い合わせ コンサート・イベント科30周年同窓会事務局  
[concert-event@g.nec.ac.jp](mailto:concert-event@g.nec.ac.jp)

令和  
5  
年度

## 卒業証書授与式

2024年3月15日(金)



卒業生とご家族や友人、教職員であふれた会場は喜びと感動に包まれていました。

式典は千葉理事長のご挨拶から始まり、続いて山野校長から各カレッジの代表者に卒業証書が授与されました。彼らの晴れやかな表情には、これまでの努力と成果が詰まっており、会場全体がその感動を共有しました。

その後、課題作品やクラブ活動などを通じて高く評価された卒業生に対し、山野校長からは「特別賞」が、桂田校友会会長からは「校友会会長賞」が授与され、会場は一層の盛り上がりを見せました。

ご来賓の(株)コスモスペース 市川社長と桂田会長からの心温まる祝辞が続き、在校生からは送辞として感謝と激励のメッセージが贈られました。

それらに対して卒業生代表の答辞はグアテマラ共和国からの留学生が2年間の思い出と未来への希望を語り、参列者の心を打ちました。

この特別な日、卒業生たちは多くの祝福と温かいエールを胸に、学校で培った知識と友情を携えて新たなステージへと旅立ちました。関係者一同、彼らの輝かしい未来を心から応援し、期待しています。

令和  
6  
年度

## 入学式

2024年4月7日(日)



晴天に恵まれたこの日、式典会場の日本工学院アリーナは新しい門出を祝う喜びと期待感で溢れていました。

冒頭、千葉理事長から学園の成り立ちや建学の精神、未来への可能性が力強く語られ、続いて山野校長から失敗を恐れず新しい挑戦への糧とすることの重要性が伝えられました。

来賓祝辞として、大田区の鈴木晶雅区長とミュージックカレッジ ダンスパフォーマンス科トータルプロデューサー SAM様が祝辞を述べられました。区長からは、国際都市・大田区における日本工学院の新入生の未来への期待を述べられ、SAM様はご自身の経験と成功の秘訣を交えながら新入生たちに対して夢を追い続ける勇気と努力の大切さを語りかけました。

最後に声優・演劇科2年生の学生から歓迎の辞として、自身の学生生活のエピソードを交えながら学びの楽しさを伝えてくれました。

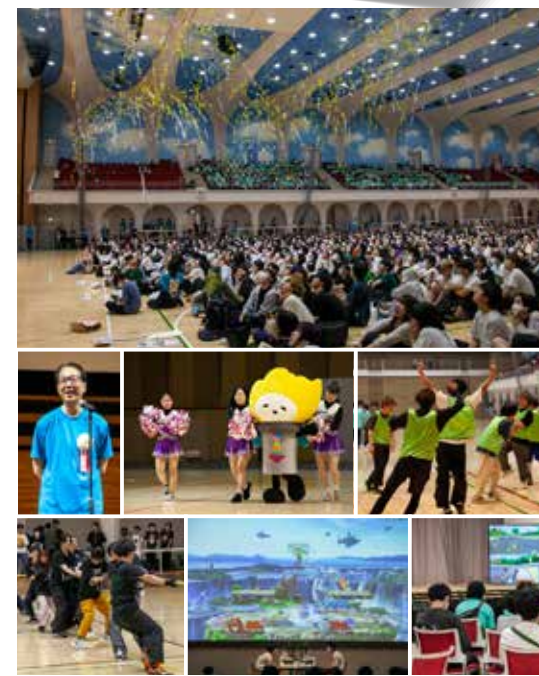
新入生は多くの祝福と激励を胸に、これから始まる専門学校生活への期待を膨らませ、新たな一歩を踏み出したことと思います。関係者一同、新入生の成長と成功を心から願っています。

(教育・学生支援部 人見真夏)

第  
53  
回

## 体育祭

2024年  
6月14日(金)  
テーマ「竜頭竜尾」  
会場：日本工学院アリーナ、階段教室、地下スタジオなど



晴天に恵まれたこの日、多くの学生が元気いっぱいに参加しました。学生数が多いため、午前と午後の2部制で進行しました。

- ★スポーツ競技:綱引き、ドッチビー、卓球などチームの団結力が試される場面が多く見られ、大いに盛り上がりました。
  - ★e-Sportsなど:マリオカートやスマッシュブラザーズといった対戦ゲーム、普段はライブなども行える音楽スタジオでのカラオケなど、より多様な参加者に向けたイベントとして一層魅力的なものとなりました。
  - ★セントラルプラザ:数台のキッチンカーが出店し軽食やアイスクリーム、かき氷などの販売が行われました。
  - ★抽選会:豪華景品が当たるチャンスに多くの学生が胸を躍らせた。
  - ★その他:普段は立ち入り禁止の3号館の屋上(地上87m)から東京～横浜を360度見渡せる特別な屋上見学ツアーも実施されました。
- 多彩なプログラムが用意された体育祭は、大きな事故もなく無事に終了しました。学生たちは一日を通じて楽しい時間を過ごし、仲間との絆を深めることができました。

第  
56  
回

## かまた祭

2023年11月4日(土)・5日(日)  
テーマ「秋桜爛漫～笑顔のないところに花は咲かぬ～」



初日の10:30に片柳記念ホールで盛大に開会式が行われ、かまた祭スタート、2日間にわたってキャンパス全体がにぎやかな雰囲気になりました。

セントラルプラザの特設ステージでは、のど自慢大会や大声コンテスト、様々なアーティストによるライブパフォーマンスが行われ、エネルギッシュな演奏と観客の熱気が会場を盛り上げました。

各学科では日頃の教育成果発表を兼ねた作品展示や舞台公演、eスポーツイベント、アフレコ体験、ドローン操作体験など、多世代の参加者が楽しめるイベントが開催されました。

また、40店以上の模擬店が出店され、セントラルプラザなどの屋外テントでは焼きそば、フランクフルト、焼き鳥、わた菓子などの定番メニューが、3号館学生ラウンジではハンドメイドアクセサリー、ステッカーなど学生のアイデアが反映された個性豊かな作品が販売されました。

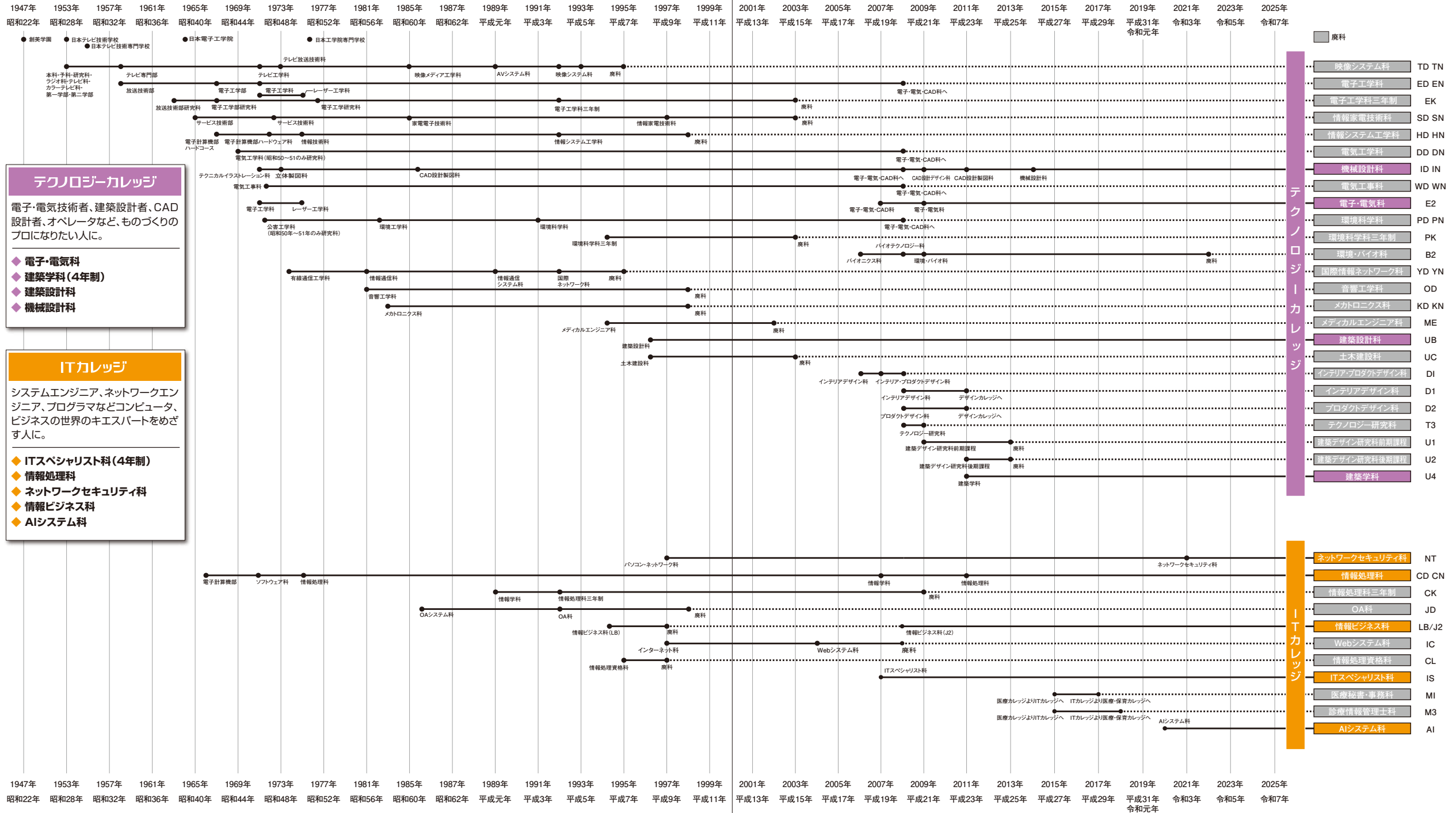
校友会では「学校内見学ツアー」「卒業生の集い」等の恒例の行事に加え、地域支援として全国から選りすぐった銘菓の販売も行われ、福島県の「ままだおる」、沖縄県の「紅いもタルト」などが人気でした。

実行委員会、校友会、地域の方々、学生・教職員スタッフの皆様のおかげで、楽しい二日間を大成功のうちに終了することができました。

# 蒲田校 学科の変遷

実践的なカリキュラムで学べば、  
あなたの未来は無敵大。  
あらゆる業界をカバーする多彩な学科群。

日本工学院(蒲田)には、それぞれに高い専門性を備えた5つのカレッジのもと、個々の分野で真に社会で求められているプロを養成するための多彩な学科がある。学問のための学問ではなく、職業人として必要な教養とスキルを磨くために練り上げられた実践的なカリキュラム。それらは、日本工学院という1つのキャンパスに集うことでまったく新しいコラボレーションを生む可能性をも秘めている。



1947年 昭和22年 1953年 昭和28年 1957年 昭和32年 1961年 昭和36年 1965年 昭和40年 1969年 昭和44年 1973年 昭和48年 1977年 昭和52年 1981年 昭和56年 1985年 昭和60年 1987年 昭和62年 1989年 平成元年 1991年 平成3年 1993年 平成5年 1995年 平成7年 1997年 平成9年 1999年 平成11年 2001年 平成13年 2003年 平成15年 2005年 平成17年 2007年 平成19年 2009年 平成21年 2011年 平成23年 2013年 平成25年 2015年 平成27年 2017年 平成29年 2019年 平成31年 令和元年 2021年 令和3年 2023年 令和5年 2025年 令和7年

### クリエイターズカレッジ

ゲームやアニメ、CG、テレビや映画で活躍するディレクターや声優・俳優、デザイナーなどをめざしたい人に。

- ◆ 放送芸術科
- ◆ 声優・演劇科
- ◆ 演劇スタッフ科
- ◆ マンガ・アニメーション科四年制
- ◆ マンガ・アニメーション科

### デザインカレッジ

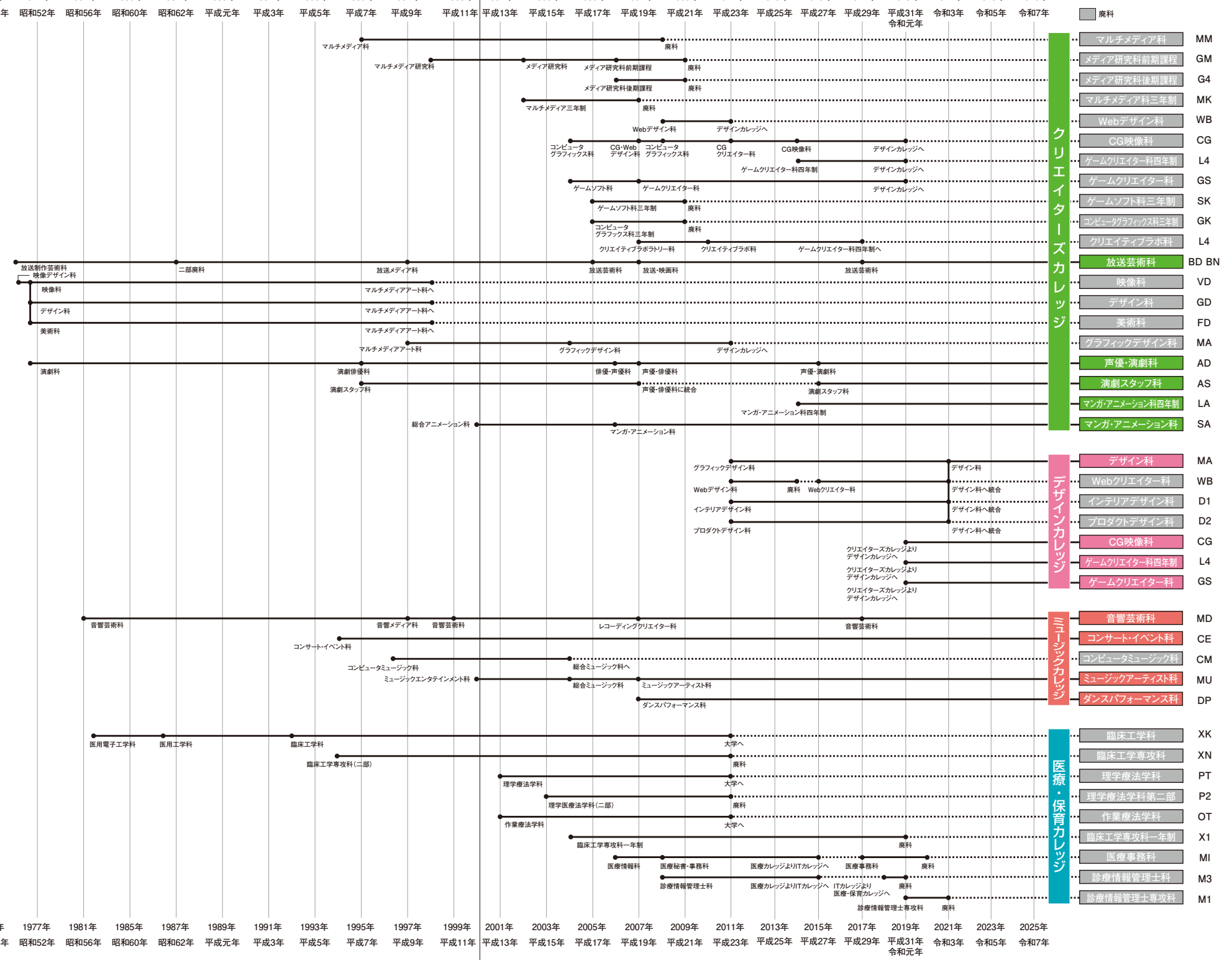
デザイン力、キャリアデザイン、人間形成の3要素をバランスよく学び、ワンランク上のデザイナーをめざす人に。

- ◆ デザイン科(3年制)
- ◆ ゲームクリエイター科四年制
- ◆ ゲームクリエイター科
- ◆ CG映像科(3年制)

### ミュージックカレッジ

ヴォーカリスト、ミュージシャン、コンサートスタッフ、レコーディングエンジニア、ダンサーなど、音楽の世界でプロになりたい人に。

- ◆ ミュージックアーティスト科
- ◆ コンサート・イベント科
- ◆ 音響芸術科
- ◆ ダンスパフォーマンス科



1947年 昭和22年 1953年 昭和28年 1957年 昭和32年 1961年 昭和36年 1965年 昭和40年 1969年 昭和44年 1973年 昭和48年 1977年 昭和52年 1981年 昭和56年 1985年 昭和60年 1987年 昭和62年 1989年 平成元年 1991年 平成3年 1993年 平成5年 1995年 平成7年 1997年 平成9年 1999年 平成11年 2001年 平成13年 2003年 平成15年 2005年 平成17年 2007年 平成19年 2009年 平成21年 2011年 平成23年 2013年 平成25年 2015年 平成27年 2017年 平成29年 2019年 平成31年 令和元年 2021年 令和3年 2023年 令和5年 2025年 令和7年

- MM マルチメディア科
- GM メディア研究科前期課程
- G4 メディア研究科後期課程
- MK マルチメディア科三年制
- WB Webデザイン科
- CG CG映像科
- L4 ゲームクリエイター科四年制
- GS ゲームクリエイター科
- SK ゲームソフト科三年制
- GK コンピュータグラフィックス科三年制
- L4 クリエイティブラボ科
- BD BN 放送芸術科
- VD 映像科
- GD デザイン科
- FD 美術科
- MA グラフィックデザイン科
- AD 声優・演劇科
- AS 演劇スタッフ科
- LA マンガ・アニメーション科四年制
- SA マンガ・アニメーション科
- MA デザイン科
- WB Webクリエイター科
- D1 インテリアデザイン科
- D2 プロダクトデザイン科
- CG CG映像科
- L4 ゲームクリエイター科四年制
- GS ゲームクリエイター科
- MD 音響芸術科
- CE コンサート・イベント科
- CM コンピュータミュージック科
- MU ミュージックアーティスト科
- DP ダンスパフォーマンス科
- XK 臨床工学科
- XN 臨床工学専攻科
- PT 理学療法学科
- P2 理学療法学科第二部
- OT 作業療法学科
- X1 臨床工学専攻科一年制
- MI 医療事務科
- M3 診療情報管理士科
- M1 診療情報管理士専攻科

学校法人片柳学園 **日本工学院専門学校**の歩み **History**

昭和22年(1947年)5月に創立された片柳学園、日本工学院専門学校の歴史を校舎の写真と共に振り返ります。

<p>昭和22年 (1947年)</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>創美学園創立</li> <li>各種学校認可</li> </ul> <p>創立時の校舎</p>	<p>昭和24年 (1949年)</p>  <p>増築校舎が完成</p>	<p>昭和28年 (1953年)</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>日本テレビ技術学校設立</li> </ul> <p>木造校舎が完成</p>	<p>昭和30年 (1955年)</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>日本テレビ技術専門学校に改称</li> </ul> <p>増築した木造モルタル2階建て校舎</p>	<p>昭和31年 (1956年)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校法人の認可</li> </ul>	<p>昭和33年 (1958年)</p>  <p>1号館が完成</p>
<p>昭和47年 (1972年)</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>創立25周年</li> </ul> <p>当時の6号館(旧5号館)が完成</p>	<p>昭和45年 (1970年)</p>  <p>5号館が完成</p>	<p>昭和44年 (1969年)</p>  <p>3号館が完成</p>	<p>昭和41年 (1966年)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実習用大型電子計算機設置</li> </ul>	<p>昭和40年 (1965年)</p>  <p>2号館が完成</p>	<p>昭和39年 (1964年)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本電子工学院に改称</li> <li>東京オリンピック実況中継に参加</li> </ul>
<p>昭和51年 (1976年)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>専修学校制度認可</li> <li>日本工学院専門学校に改称</li> </ul>	<p>平成17年 (2005年)</p>  <p>アニメ・デザイン館(6号館を増築)が完成</p>	<p>平成19年 (2007年)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>カレッジ制スタート</li> <li>東京工科大学附属日本語学校開校</li> </ul>	<p>平成21年 (2009年)</p>  <p>新3号館 着工</p>	<p>平成22年 (2010年)</p>  <p>4月 新3号館 完成</p>	<p>平成28年 (2016年)</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>創立70周年記念事業として蒲田キャンパス再整備完了</li> </ul> <p>7月 新1・2号館、片柳アリーナ 完成</p>
<p>昭和54年 (1979年)</p>  <p>7号館が完成</p>	<p>平成13年 (2001年)</p>  <p>8号館が完成</p>	<p>平成9年 (1997年)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>創立50周年</li> <li>学校法人名を片柳学園に改称</li> </ul> <p>校友会から国旗・校旗 掲揚ポール寄贈</p>	<p>令和6年(2024年)</p>  <p>2027年創立80周年に向けて新たな取り組みをスタート!</p>	<p>平成29年 (2017年)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>創立70周年</li> </ul> <p>校友会から時計塔寄贈</p>	<p>令和3年 (2021年)</p>  <p>校友会から創立者故片柳鴻先生の胸像寄贈</p>
<p>昭和55年 (1980年)</p>  <p>6号館(旧5号館)が完成</p>	<p>昭和57年 (1982年)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本工学院北海道専門学校開校</li> </ul>	<p>平成5年 (1993年)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東京工科大学に大学院開設</li> </ul>			
<p>昭和61年 (1986年)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東京工科大学開学</li> </ul>	<p>昭和62年 (1987年)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>創立40周年</li> <li>日本工学院八王子専門学校開校</li> </ul>				

## 2023年度 企業奨学金授与式

株式会社城南サービス様、株式会社有隣堂様より学生に奨学金が給付されました。  
2023年12月15日(金)校友会ラウンジにて「企業奨学金授与式」が開催されました。  
この奨学金は、日ごろより学生・学校共にお世話になっている株式会社城南サービス様、株式会社有隣堂様より、学業・人物ともに優秀な学生を顕彰し、支援・応援する目的で給付されるものです。

- 対象学生：学業・出席率・就職先・資格取得など総合的に優秀な成績を修めている学生をカレッジ・学科が選出し推薦
- 給付額：各100,000円

### ▼ 株式会社有隣堂 企業奨学金授与式

日時：2023年12月15日(金)10:00～  
授与対象者：2名  
(ITスペシャリスト科、放送芸術科 各1名)  
プレゼンター：株式会社有隣堂  
代表取締役社長 松信 健太郎様  
推薦理由：成績優秀・出席皆勤、基本情報技術者試験合格。さらに、課外活動で企業主催のサイバーセキュリティ研究に参加するなど積極的な姿勢が評価されました。(ITスペシャリスト科)  
入学してから授業に積極的に取り組み修了制作では監督を務め、卒業制作でもドキュメンタリー作品の監督としてチームを牽引。また企業CM制作で中心人物として活躍し企業から高評価を受けました。(放送芸術科)



株式会社有隣堂

### ▼ 株式会社城南サービス 企業奨学金授与式

日時：2023年12月15日(金)11:00～  
授与対象者：1名(コンサート・イベント科)  
プレゼンター：株式会社城南サービス  
代表取締役 磯 取二様  
推薦理由：体験入学や多くのインターンシップ、学科のイベントほぼすべてに参加し、常に積極的に活動。学業面でも非常に優秀で、常に高い成績を維持してきたことが評価されました。



株式会社城南サービス

それぞれ授与される際にプレゼンターの方から激励のお言葉を頂き、授与式は滞りなく終了いたしました。後日、授与された学生達から各企業に、奨学金授与のお礼の言葉と共に、授与された奨学金をどのように使ったかなどの報告と感謝の言葉と共に、将来の目標に向かっての決意が述べられた手紙が届けられました。授与された皆様のご活躍を期待しています。

## キャリアサポートセンターからの報告



就職・進学・デビューなど卒業後の進路に向けて支援していますキャリアサポートセンターより、現在の状況報告と共にOB&OGの皆様をお願い申し上げます。

コロナが5類に移行して以降、企業の選考方法や学生達の就活のスタイルも様々な変化がもたらされましたが、当校の学生も変化に対応し徐々に活発に動き始めました。

また諸先輩方が活躍されているおかげで、ご求人も途絶えることなく学生の進路に導いていただき感謝の念に堪えません。あらためて工学院の先輩方のご活躍には頭の下がる思いです。現在は以前の求人状況に戻りつつあり、企業様の新卒求人も活発な動きが見えております。4月の春の合同企業説明会(3日間開催、約280社様参加)では、コロナ前同様の開催を行う事が出来、卒業期学生は一生懸命に就職活動を行い自分の夢に向かい邁進しております。そのような中、重ねてお願いがございます。引き続きの求人のご協力に加え、特に地方出身者が多いクリエイター、ミュージック系の学生が活用できる専門職を求めています。そのような求人情報がございましたら、キャリアサポートセンターまで、ご一報をお願い致します。諸先輩方のご協力を今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

## 求人情報ご提供のお願い

当校後輩学生へのご求人、業界へのアルバイト情報が有りましたら、下記までご連絡ください。尚、お問い合わせの際には、当校のOB&OGである旨をお伝えください。

お問い合わせ先

日本工学院専門学校  
教育・学生支援部 キャリアサポートセンター担当  
TEL:03-3732-5610(直通)  
E-Mail: job-kmt@stf.neec.ac.jp

求人申込(新卒対象のみ)は当校HPより  
「採用企業の皆様へ」のバナーをご確認ください。





## 校友会誌『かまた』Web版への切替のお知らせ

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、この度、長らく皆様にご愛読いただいております本校友会の会報誌「かまた」は、2025年発行の60号より、従来の冊子体からWeb版へと移行することになりました。

この度、Web版への移行を決めたのは、時代の変化に対応し、より多くの方に、より迅速に情報を届けたいという思いからです。Web版では、オールカラーでの掲載や、過去の号のアーカイブ化など、従来の冊子版にはない新しい試みを数多く行っていく予定です。

一方で、冊子版を希望される方もいらっしゃるかと存じます。つきましては、来年以降も冊子版の発行を継続いたします。冊子版をご希望の方は、お手数ですが、お申し込みをお願いいたします。

また、校友会Webサイトも2025年4月からリニューアル予定です。より見やすく、使いやすくなったWebサイトで、皆様に役立つ情報を発信してまいります。

校友会誌「かまた」は、皆様の温かいご支援のもと、創刊以来60号という節目を迎えることができます。心より感謝申し上げます。この度、Web版への移行という大きな転換期を迎えますが、これからも皆様と力を合わせ、より一層充実した校友会活動を目指してまいります。

今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2025年「かまた」60号からはWebサイト(PC、スマホ、タブレット等)でお楽しみください!



## 2025年発行 60号以降も冊子での配送をご希望される方へ

以下のいずれかの方法でお申し込みください。

### 1 ハガキでの申し込み

「かまた」59号をお送りした際の、宛名台紙の返信用ハガキを郵送してください。必ずチェックを記入してください



冊子での送付を希望する

### 2 QRコードからの申し込み

以下のQRコードを読み取り、Googleフォームにてお申し込み下さい。



▲宛名台紙返信用ハガキ

これまで通り冊子をご希望される方は必ず上記に従ってお知らせください!



# Pal Syne(パルサイン)について

日本工学院専門学校 校友会 **検索** <http://www.kouyukai.net/> から『会員専用Webサービス』に移動して、会員ID/パスワードでログインしてください。

**1** 画面左下部「校友会会員専用Webサービス」をクリック



クリック!!

**2** 「会員ID/パスワード」を入力後、ログインをクリックしてください。

初回ログイン時には、メールアドレスと生年月日の登録が必要になります。

- ✓ ログイン後、会員ID/パスワードは自由に変更できます。
- ✓ 万一、変更したパスワードを忘れてしまった場合は、登録済のメールアドレスと生年月日で再発行を受けることができます。
- ✓ セキュリティはシステム管理者にて十分に守られますが、各会員におかれましても、ご自身のID/パスワードは確実に保管していただきますようお願いいたします。



**3** 会員専用Webサービスでは主に以下のような機能があります。

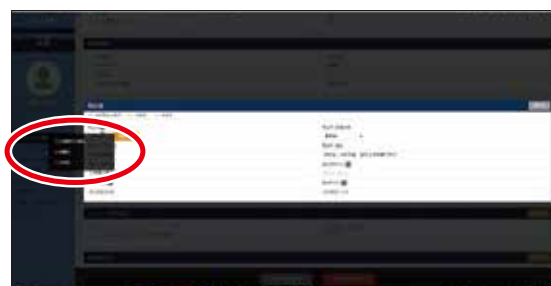
- ✓ ご自身の登録情報の確認と変更
- ✓ 同窓会やイベントの情報閲覧
- ✓ イベント参加の申し込み

**4** ご自身の登録情報の確認と変更



- 住所、勤務先などの情報はご自身でご変更いただけますようお願いいたします。
- 登録情報を会員にどの程度公開して良いか、ご自分で設定してください。「全会員に公開」「同年卒・同年修了にのみ公開」「非公開」の設定ができます。

初期設定では全て非公開となっています。



編集画面

スマートフォンからもご利用いただけます!



<https://pu.palsyne.net/g-katayanagi-kamata/>

# 校友会Facebookのご案内

校友会では、Webサイト「校友会NeT」と並行して、Facebookページを運用しています。「会員の集い」の案内や学校行事の案内等を、写真と共に掲載しています。ぜひご覧ください!  
(ご覧いただくには、Facebookのアカウント登録が必要です)



<https://www.facebook.com/kamatadouyukai/>

## パソコン版



## スマートフォン版



## 日本工学院専門学校校友会 ソーシャルメディアポリシー

日本工学院専門学校校友会では皆様が安全で快適なオンライン環境で交流できるよう、ソーシャルメディアポリシーを定めています。会員・準会員(学生)、教職員ならびに関係者がソーシャルメディアポリシー(Web、Facebookなど)を利用する際は遵守してください。他者に対する不利益や名誉毀損、公序良俗に反する行為、誹謗中傷、差別的発言などは一切禁止されています。また、営利目的や違法行為も厳禁です。皆様のご協力をお願い申し上げます。

詳細はポリシー全文をご確認ください。



ソーシャルメディアポリシーの全文は、こちらでご覧いただけます。

## 日本工学院専門学校3号館12階 校友会ラウンジ 利用規定のご案内

2023年1月にリニューアルされた「校友会ラウンジ」

校友会会員の皆さまには、同窓会の待ち合わせ、親睦会の場などご利用いただけます。

但し、正会員が利用していない時間帯は準会員である在校生にグループワークや自習勉強に開放していますので、ご利用にあたっては事前申請が必要です。

詳細は下記QRコードをご確認ください。



### お問い合わせ・お申し込み

日本工学院専門学校校友会事務局  
〒144-8655  
東京都大田区西蒲田5-23-22  
TEL : 03-3732-8183  
E-mail : koyukai@stf.neec.ac.jp

## かまた題字作家紹介



本校校友会誌の表紙題字は人間国宝の芹澤銑介(セリザワ ケイスケ)先生の筆によるものです。先生は本校6号館東側に流れる香川の上流約150mに架かる馬引橋近くに、昭和9年から居を構えられ、爾来50年にわたって蒲田の地で型絵染の創作活動に没頭されておられました。昭和42年(1967年)10月発行の日本電子工学院校友会(校友会の前身の名称)会誌第2号以来表紙を飾っています。

## 芹澤 銑介 先生 略歴

- 明治28年(1895) 静岡市に生まれる。
- 大正5年(1916) 東京高等工業学校図案科卒業。
- 大正14年(1926) 朝鮮の旅に出て京城及び慶州仏国を訪れる。往路、船中にて「大調和」誌の口絵及び柳宗悦氏の「工芸の道」に感動、生涯の転機となる。
- 昭和3年(1928) 沖縄紅型に感銘を受ける。
- 昭和6年(1931) 雑誌「工芸」が創刊され、その表紙を一年間受持つ。その型染布表紙は装幀の仕事への端緒となる。
- 昭和7年(1932) 国画会会員・川端康成「雪国」装幀。
- 昭和9年(1934) 東京蒲田町に移る。初めて仕事場に恵まれる。
- 昭和13年(1938) 柳宗悦氏他民芸同人と共に沖縄に渡り紅型の技を受ける。
- 昭和20年(1945) 型染めカレンダー創始。
- 昭和24年(1949) 女子美術大学教授となる。
- 昭和31年(1956) 型絵染で重要無形文化財保持者(人間国宝)の指定を受ける。
- 昭和38年(1963) 大原美術館工芸館第二期の棟方・芹澤両館落成。
- 昭和41年(1966) スペインのバルセロナにあるカタルーニャ美術館を訪れ、永年の念願を果す。その程復途上、エジプト、トルコおよび欧州各地を巡遊。紫綬褒章を受ける。
- 昭和51年(1976) 文化功労者となる。フランスの国立グラン・パレ美術館において「芹澤展」開催。
- 昭和58年(1983) フランス政府から芸術功労勲章を贈られる。
- 昭和59年(1984) 4月5日死去(享年89歳)。

## 入学金免除制度

学校法人片柳学園の設置する学校(日本工学院専門学校、日本工学院八王子専門学校、日本工学院北海道専門学校、東京工科大学)卒業生子女、兄弟姉妹および孫又は在校生の兄弟姉妹が入学する際に入学金を免除する制度です。該当する方は以下のいずれかの方法で用紙を取り寄せ、出願時に出願書類と共に提出してください。兄弟姉妹同時入学の場合は、一人分の適用となりますので入学後に教育・学生支援部へ申請し、手続を行ってください。 ※「入学金免除申請書」の受付は、2025年3月31日(月)までとします。

### 「各種資料請求用紙」にて請求

入学募集要項の「各種資料請求用紙」にて請求  
教育・学生支援部より「入学金免除請求書」を送付  
必要事項を記入・押印  
出願書類と共に教育・学生支援部へ郵送

### WEB

日本工学院専門学校ホームページ(www.neec.ac.jp)  
画面右側、「卒業生のみなさま」  
入学金免除制度説明ホームページ  
(www.neec.ac.jp/entry/graduate/exemption)  
PDFファイルにて「入学金免除申請書」をダウンロード  
必要事項を記入・押印  
出願書類と共に教育・学生支援部へ郵送

## 個人情報保護についての取組み

日本工学院専門学校校友会(以下校友会)では、個人情報保護法に基づき会員の個人情報の保護について、以下の取組みを実施しております。

- ◆校友会が保有する個人情報の適正な取扱いをするために、個人情報の保護に関する規程を定めました。
- ◆会員の個人情報は、必要な情報のみを適正かつ公正な手段によって収集させていただいております。得られた個人情報は、校友会に関する目的(校友会誌「かまた」並びに「校友会会員の集い」の案内・議事録の発送、出欠の確認、学校法人片柳学園からのお知らせなど校友会が認めた業務)のみで使用いたします。また、会員に対する校友会窓口(koyukai@stf.neec.ac.jp)を明示し、会員からの連絡が速やかに受けられるように致します。
- ◆校友会では、会員よりいただいた個人情報を適切に管理し、会員本人の同意がない限り、校友会以外の第三者に対する個人情報の提供は致しません。
- ◆個人情報の取扱いを含む業務を委託する場合は、受託者との間で契約により個人情報の再提供・漏洩などをしないよう義務づけを致します。
- ◆会員が自己の個人情報に関して、開示・修正・変更等を希望される場合には、校友会窓口(koyukai@stf.neec.ac.jp)までご連絡いただければ、迅速に対応致します。
- ◆校友会では、上記の項目について、見直し・改善の必要が発生した場合には、適宜対応してまいります。

## 令和6年3月 教職員退職者報告

2023年度、永年ご指導くださいました次の先生方が、定年または一身上のご都合により退職されましたのでお知らせいたします。



氏名	所属等(退職時)	氏名	所属等(退職時)
井上 佳夫	蒲田校/キャリアサポートセンター	梶原 更宮	蒲田校/ミュージックカレッジ
志賀 孝一	法人/ネットワークセンター	山村 陸	蒲田校/デザインカレッジ
藤 義隆	八王子校/ミュージックカレッジ	鶴岡 太一	蒲田校/デザインカレッジ
川口 貴弘	蒲田校/デザインカレッジ	横濱 俊恵	法人/広報部(留学生センター)
前田 篤志	蒲田校/テクノロジーカレッジ	鄭 多媛	蒲田校/教育・学生支援部(学生課)

永年のご指導ありがとうございました!

## 学校法人片柳学園 教員・講師募集のご案内



日本工学院では教員(正規職員・契約職員)・常勤講師・非常勤講師の募集をしております。ぜひ、卒業生の皆様のスキルを後輩の育成にお役立て下さい。本校の教育理念にご賛同いただき、教育に熱意のある方のご応募をお待ちしております。卒業後、実社会で経験され、身につけられた知識、技術及び社会人として必要なマナーを活かし、教育に熱心に取り組むことができる方を希望しております。なお応募学科によって求めるスキル、募集資格等が異なりますので、詳細は下記のホームページをご覧ください。

<https://www.katayanagi.ac.jp/recruit/teacher/>



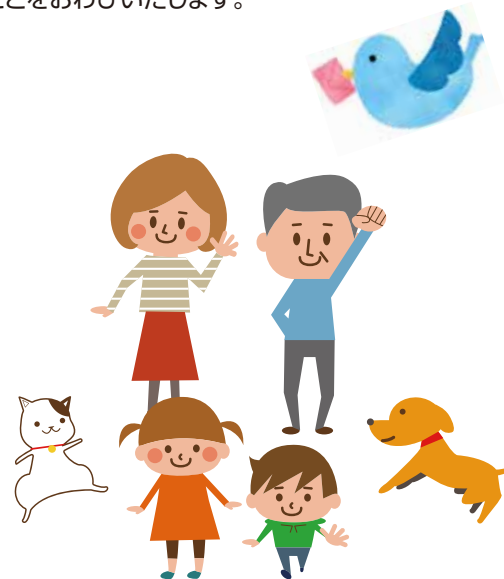
## ～会員近況メッセージ～

### お元気ですか？

全国から、海外からこの約1年間(2023年8月～2024年7月)に、校友会事務局に届いた会員の皆さんの近況報告。

思わぬ名前を見つけて、懐かしい顔や声が思い浮かんだり、その元気そうな様子にほっと胸をなでおろしたり・・・

このコーナーが、そのような温かい出会いや思いを多くの皆さんにお届けできたら幸いです。なお、誌面の都合で掲載できなかったお便りもありましたことをおわびいたします。



氏名(旧姓) / 住所(都道府県)  
学科 / 期の順で表示しています。  
[順不同] ※イラストはイメージです

米本 正広 山形県  
放送制作芸術科 第5期

2022年末、仙台から山形県上市市松山へ移住しました。仕事は変わらず、高速バスで仙台まで通勤しております。



小松田 光代 (旧姓：磯部) 東京都  
情報処理科 第25期

CD25期4組卒です。クラスメイト女性6名で今も仲良くしています。中原先生、工学院のおかげかな、ありがとうございます!!

佐藤 果奈 千葉県  
音響芸術科 第15期

<https://jsteamusic.themedia.jp/>  
にてイベント情報を上げております。



山崎 花愛 (旧姓：前川) 埼玉県  
ダンスパフォーマンス科 第9期

卒業後、アメリカへ3年。帰国してダンスのインストラクターをしています。

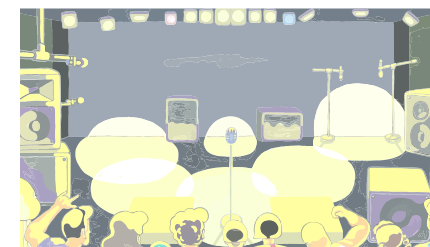


新井 成基 神奈川県  
情報処理科 第37期

ソフトバンクに転職して20年超、がんばっています。大日方先生、お元気ですか？

秋山 みなみ 埼玉県  
音響芸術科 第38期

元気にライブハウスで働いています!!



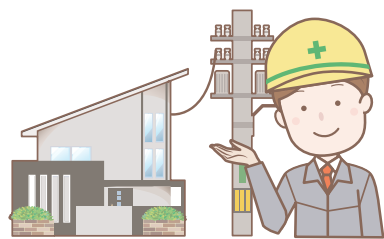
齊藤 直彦 静岡県  
情報処理科 第25期

横浜で社員60名程のIT系会社を運営しています。静岡にも事務所があり、採用についてもご相談していきたいと考えます。

大場 一俊 東京都  
環境科学科 第35期  
卒業後は、J&T環境株式会社にて業務中です。

水井 智毅 東京都  
情報処理科 第32期  
アストロデザイン株式会社で放送・映像機器(特に8K機器)の営業をやっています。

藤原 健二 千葉県  
電気工学科 第16期  
(有)チェリー電機設備 取締役として電気工事、設備業をしております。



野口 孝幸 兵庫県  
電子工学科 第47期  
JR芦屋駅北口のホテル竹園芦屋で施設管理をしています。

呂 尚禹 (ロ ショウウ) 東京都  
ゲームクリエイター科四年制 第13期  
社会人一年生として頑張っています!

新藤 武子 (旧姓: 佐久間) 神奈川県  
演劇科 第8期  
卒業して38年。途中、長いブランクも有ったけれど、今年N.Y.で踊る事が出来ました。夢はいくつになっても叶う。



日川 聡子 (旧姓: 榎) 東京都  
情報処理科 第33期  
先日、息子のためにオープンキャンパスに行ってきた。

名和 孝仁 神奈川県  
パソコン・ネットワーク科 第19期  
パソコン・ネットワーク科卒業生です。一緒に働きましょう!

竹久 宏華 (旧姓: 前沖) 島根県  
演劇俳優科 第28期  
演劇俳優科、バレエ部、城南寮の皆さんお元気ですか?  
2人の子育てが終わったら、また東京で会いたいです!!

上野 昭典 北海道  
公害工学科 第2期  
皆さん元気ですか。北海道に移住しました。ぜひ遊びに来て下さい。キャンピングカー購入しました!



天間 伶佳 神奈川県  
マンガ・アニメーション科四年制 第2期  
コナミに転職しました。

佐々木 ゆか (旧姓: 角田) 神奈川県  
マンガ・アニメーション科 第13期  
工学院で学んだことを生かして、現在はフリーのイラストレーターになれました。ありがとうございます!



麻生 重幸 長崎県  
情報処理科 第25期  
現在、米海軍佐世保基地の消防隊で勤務しております。  
アメリカの消防士です。

山縣 浩幸 宮城県  
放送制作芸術科 第5期  
仙台市から富谷市に引っ越しいたしました。  
M&Hコーポレーション 事務所併用です。宜しく!!

執行 國雄 福岡県  
情報技術科 第12期  
“かまた”が送られてくるのが楽しみになってます。新しい技術が次々と出て、対応するのが大変ですが、工学院魂でガンバリましょう!!  
45年ほど前、故片柳理事長が大きな車でアパートの前を通られるのが懐かしい思い出です。



会員の皆さんからのお便りでした!  
これからたくさんのお便りお待ちしております!

### お詫びと訂正

校友会誌「かまた」第58号(2023年8月31日発行)におきまして誤りがありました。読者の皆様および関係者の皆様には大変ご迷惑をお掛けしました。  
ここに深くお詫びし、訂正させていただきます。

【訂正箇所】 P.54 ~会員近況メッセージ~ お元気ですか?

誤)

服部 武司 埼玉県  
電気工学科 第44期生

正)

服部 武司 埼玉県  
電子工学科 第44期生



心からご冥福をお祈り申し上げます。

校友会会員の次の方々の訃報が届きました。



氏名	学科	卒業期	卒業年月	没年月日
石川 征雄さん	第二学部	36期	1963年3月	
内藤 実さん	情報処理科1年制	30期	1986年3月	2020年3月末
光本 照久さん	放送技術部	4期	1961年3月	2023年9月
浅尾 登さん	電気工学科	10期	1976年3月	

一部ご紹介させていただきます。



## 校友会から「会誌探索」のお知らせ



### 会誌を探しています…

本校校友会では過去に発行した校友会誌を保存し、閲覧いただけるようにしていますが、数冊欠けている号がございます。

下記の号をお持ちの方でご寄贈いただける方がありましたら事務局までご一報ください。

バックナンバーをWEB上で  
ご覧いただけるよう  
準備を進めております。

● 校友会誌「かまた」  
第9号

● 校友会誌「かまた」  
第10号

1974年～1975年頃 発行

第9号

第10号

ご協力お願い致します

- 本誌の記事・写真等の無断掲載を禁じます。
- 日本工学院専門学校校友会や本会誌についてのお問い合わせは下記までお願いします。

学校法人 片柳学園

日本工学院専門学校 校友会誌

# かまた

No.59

発行日：令和6(2024)年8月31日

編集・発行：日本工学院専門学校校友会

連絡先

日本工学院専門学校校友会 事務局

〒144-8655 東京都大田区西蒲田5-23-22

TEL. 03-3732-8183 E-mail koyukai@stf.neec.ac.jp

Webサイト <http://www.kouyukai.net>

# 日本工学院の 「再入学優遇制度」

日本工学院を卒業後、本校の他学科に再入学をする場合、  
入学金を免除し、また学費も減免いたします。

日本工学院専門学校・日本工学院八王子専門学校の2年制学科以上の学科を卒業または卒業見込みの方が、本校の他学科へ再入学を希望する際、入学選考料・入学金の免除および授業料等の減免をする制度です。

日本工学院は、2つの学科の専門知識・技術を習得することで、将来の活躍の幅を広げたい方を応援します。

たとえば…



**対象者** 日本工学院専門学校・日本工学院八王子専門学校2年制学科以上の卒業生、  
または当該年度卒業見込みの学生

**条件** 希望する学科の定員に余裕がある場合に限りです

再入学優遇制度内容

選考料	全額免除
入学金	全額免除
授業料	在学中半期ごとに15万円減免(年間最大30万円) ※半期ごとに申請・審査をして決定します

\*「若きづくりびと奨学金制度」「片柳学園入学免除制度」「留学生奨学金制度」との併用はできません  
\*金額については、再入学年度用募集要項をご参照ください

問い合わせ先

日本工学院専門学校 教育・学生支援部 ☎ 03-3732-1111(代)

日本工学院八王子専門学校 教育・学生支援部 ☎ 042-637-3111(代)

# 「教育訓練給付金」のお知らせ (授業料 最大70%給付)

「教育訓練給付金」とは、労働者が自ら受講費用を負担して一定の教育訓練を受けた場合に、厚生労働省がその費用の一部を支給するもの。  
日本工学院では、資格試験の受験率・合格率、就職・在職率などの基準を満たしたとして、現在下記の学科・コースが認定されています。  
あなたのキャリアアップを国が支援する制度を、ぜひご活用ください。

**対象学科・コース** ※2024年7月現在の情報です。申請を希望される方は、事前にハローワークでご確認ください。

日本工学院専門学校	
放送芸術科 カメラマンコース	音響芸術科
放送芸術科 照明コース	電子・電気科 電気工学コース
日本工学院八王子専門学校	
放送芸術科	機械設計科
ネットワークセキュリティ科	自動車整備科
電子・電気科 電気工学コース	柔道整復科
電子・電気科 電気工事コース	医療事務科

## 支給対象

受講開始前までに通算2年以上の雇用保険の被保険者期間のある方  
(これまで教育訓練を受けたことがある方には別の条件があります)

## 支給内容(専門実践教育訓練)

支給額上限=40万円/年(受講後1年以内に資格取得をし、就職した場合56万円/年)  
支給期間=原則2年(資格につながる場合は最長3年)

**申請方法等** 厚生労働省ホームページ(教育訓練給付制度について)または、  
**詳細は** ハローワークインターネットサービス(教育訓練給付)をご覧ください。

# 日本工学院 若きつくりびと奨学金

日本工学院は、社会に貢献する人材のさらなる育成を目的に、学ぶ意欲があり優秀な学生や、経済的理由で就学が困難な学生に対し、返済不要の奨学金(6タイプ)を給付します。  
※対象：2025年度入学生

	タイプ	対象者	給付額	定員 <sup>※4</sup>	審査	採用試験(二次審査)日 (申請受付期間)
新卒者 (2025年3月高等学校卒業見込みの方 または卒業後1年以内の方)	成績優秀者 特待生	次のすべてを満たす方 ・高等学校の学習成績の状況4.0以上の方 ・高等学校3年間の欠席日数が7日以内の方 ・高等学校の先生の推薦のある方	50万円 1年次後期20万円 2年次前期20万円 ※3 2年次後期10万円 ※3	100名	一次審査 ・書類審査	受験場所：入学希望校 9/14日 (2024/8/5~27) ※6
	課外活動 優秀者 特待生	次のすべてを満たす方 ・出席良好の方 ・高等学校の先生の推薦のある方 ・課外活動における優秀な成績を取った方 (次の①~③のいずれか) ①高等学校文化連盟や体育連盟等所属のクラブ活動の大会で所定の成績を取った方 ②高等学校が①相当以上と認めるコンテスト・コンクール・大会等で優秀な成績を取った方 ③本校主催のコンテスト等で上位に入選した方	30万円 1年次後期20万円 2年次前期10万円 ※3  10万円 1年次後期	100名	二次審査 ・筆記試験(一般常識) ・面接試験 <sup>※5</sup>	10/19日 (9/9~10/8) ※7  11/16日 (10/21~11/5) ※7
既卒者 <sup>※1</sup> 向け	資格 特待生	次のすべてを満たす方 ・本校所定の資格を1つ以上取得した方 (難易度によりカテゴリーに分かれます ※2) ・高等学校3年間の欠席日数が15日以内の方 ・高等学校の先生の推薦のある方	30万円 カテゴリーA 20万円 カテゴリーB 10万円 カテゴリーC 10万円 1年次後期	100名	・書類審査 (10/1~随時受付)	1/25日 (12/2~2025/1/14)
	就学支援 奨学金	次のすべてを満たす方 ・高等学校の学習成績の状況3.5以上の方 ・高等学校3年間の欠席日数が15日以内の方 ・日本学生支援機構奨学金(貸与奨学金)予約採用者(予約申込中の方も含む)で世帯年収450万円以下の方 ・高等学校の校長先生の推薦のある方	30万円 自宅通学者 1年次後期20万円 2年次前期10万円 ※3  42万円 自宅外通学者 1年次後期20万円 2年次前期22万円 ※3	100名	・書類審査 (10/1~随時受付)	2/15日 (1/20~2/4)  受験場所：本校以外 ※8 9/8日 14日 15日 (2024/8/5~27) ※6
留学生 向け	再進学 特待生	・高等学校を卒業した方 ・本校以外の専門学校を卒業した方 ・短期大学を卒業した方 ・大学を卒業した方 ・社会人の方	30万円 1年次後期20万円 2年次前期10万円 ※3  10万円 1年次後期	100名	一次審査 ・書類審査 二次審査 ・筆記試験(一般常識) ・面接試験 <sup>※5</sup>	11/23日・祝 24日 (10/21~11/8)
	留学生 特待生	・日本語学校在籍し出席率90%以上で、かつ次の①~⑤のいずれかに該当する方 ・日本語学校在籍者以外で、次の①~④のいずれかに該当する方 ①日本語能力試験1級(N1)合格者 ②日本留学試験(EJU)260点以上取得者 ③BJTビジネス日本語能力テスト(JLRT)で480点以上取得者 ④国内あるいは外国の大学を卒業した方(学士取得者) ⑤上記と同等の能力があると、日本語学校の校長先生が認める方	36万円 1年次後期20万円 2年次前期16万円 ※3	100名	一次審査 ・書類審査 二次審査 ・筆記試験(日本語能力・作文) ・面接試験	11/16日 (10/21~11/5) 12/7日 (11/11~26) 1/25日 (12/2~1/14) 2/15日 (1/20~2/4)

※1 高等学校卒業生、文部科学省高等学校卒業程度認定試験合格者、高等専門学校3年以上修了者、本校校長が認める学校を卒業した方。  
※2 対象資格は「若きつくりびと奨学金要項」をご覧ください。  
※3 2年次の給付可否は、入学後の各学期での学業成績(上位1/2以上・出席率90%以上)等による継続判定のうえ決定します。  
※4 定員に達し次第、締め切ります。  
※5 オンラインエントリー・オンライン出願と同時に申請する場合、面接(面談)は対面となります。  
※6 総合型選抜(AO入学)エントリーの方のみ対象。  
※7 2025年3月高等学校卒業見込みの方は、学校推薦型選抜(推薦入学)の受付は10/1から、一般選抜(一般入学)の受付は11/1からです。開催地は「若きつくりびと奨学金要項」をご覧ください。  
※8 開催地は「若きつくりびと奨学金要項」をご覧ください。

**注意事項**  
● 学業・人物ともに優秀な方を対象とします。  
● 奨学金給付審査料は無料です。ただし、学校推薦型選抜(推薦入学)、一般選抜(一般入学)、総合型選抜(AO入学)の選考料は、二年制科目 20,000円、三・四年制科目 25,000円です。  
● 審査により採用・不採用を決定します。  
● 給付方法は、学費納入金からの減額です。  
● 本校を休学または退学をする場合は、給付額を返還していただきます。  
● 本校の他の特待生制度および再入学優遇制度との併用(併給)はできません。片柳学園入学金免除制度、日本学生支援機構や民間団体等の奨学金制度との併給は可能です(「就学支援奨学金」のみ日本学生支援機構の給付奨学金との併給はできません)。  
● 申請方法・その他の詳細は、「若きつくりびと奨学金要項」でご確認ください。

若きつくりびと  
奨学金要項  
のご請求は、  
左記フリーダイヤル  
まで。